

株主の皆さまへ

第69期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで



東洋シャッター株式会社

証券コード5936

代表取締役社長

岡田 敏夫



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

ここに当社第69期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業概況をご報告申し上げます。

2023年12月

Q. 第69期第2四半期の業績についてお聞かせください。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う経済活動の正常化が一段と進み、景気は緩やかに回復しました。しかしながら、不安定な国際情勢の中、原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価の上昇等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当シャッター業界を取り巻く状況としましては、民間設備投資需要は持ち直しの傾向が続いておりますが、大型物件における受

注競争は依然激しく、鋼材を中心とした原材料価格も高止まりが続くなど、引き続き厳しい環境にあります。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画『TOYO REBORN3』の2年目として、販売価格水準の更なる向上や生産効率の改善等により基幹事業の収益力向上に取り組むと共に、戦略的な受注活動や、受注済み案件の採算改善などに注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は前年同四半期比3.8%増の10,594百万円となり、売上高は前年同四半期比12.3%増の10,338百万円、営業利益は610百万円（前年同四半期は20百万円）、経常利益は571百万円（前年同四半期は経常損失11百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は369百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円）となりました。

Q. 今期の見通しはいかがでしょうか？

2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、鋼材を中心とした原材料価格が高止まりの状況にあるものの、販売価格水準の見直しや受注済み案件の採算改善に取り組み、売上高、利益面ともに期初の計画を上回る結果となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましても、今後の受注動向等が不透明ではあるものの、当第2四半期連結累計期間の業績が前回発表予想に対して好調に推移したことに鑑み、2023年5月12日に公表した業績予想を次ページのように修正いたしました。

今後の業績動向に応じて業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

Q. 株主還元についてお聞かせください。

当社は、中長期的な企業価値の向上と安定的な経営基盤の確保に努めながら、株主の皆様への利益還元とのバランスの最適化を、経営の最重要課題の一つとして位置付けております。

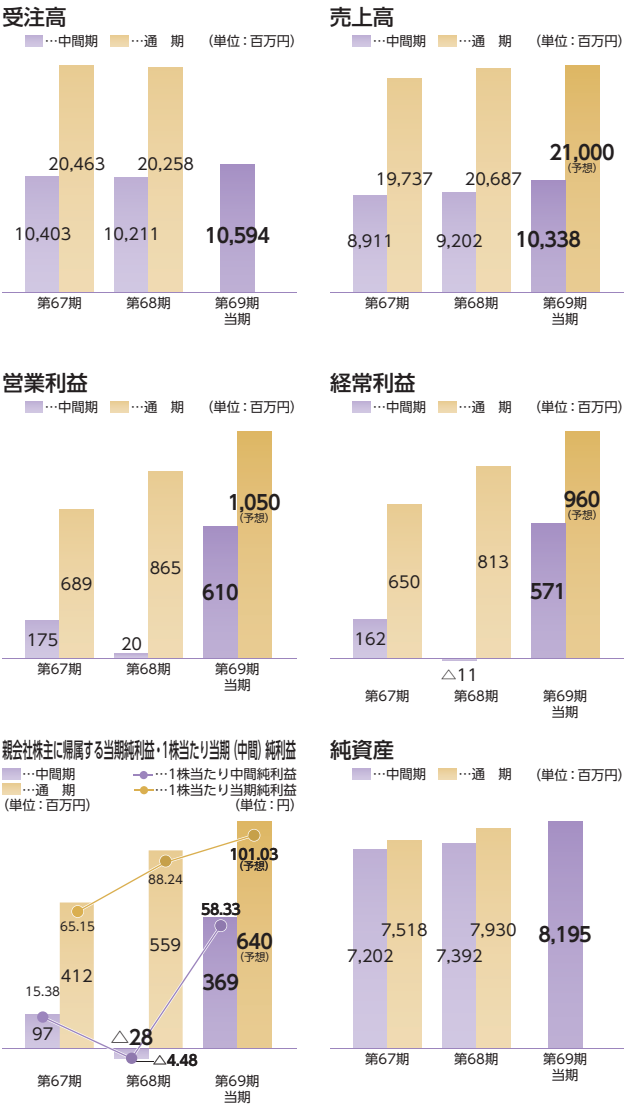
2024年3月期期末配当の1株当たりの配当予想につきましては、当社の通期連結業績予想数値が当初予想を上回ることから、普通配当18円を20円に修正いたします。

連結業績予想の修正

2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円銭)
前回発表予想（A）	20,000	900	850	560	88.40
今回修正予想（B）	21,000	1,050	960	640	101.03
増 減 額（B－A）	1,000	150	110	80	—
増 減 率（％）	5.0	16.7	12.9	14.3	—
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	20,687	865	813	559	88.24

当社グループの営業成績及び財産の状況

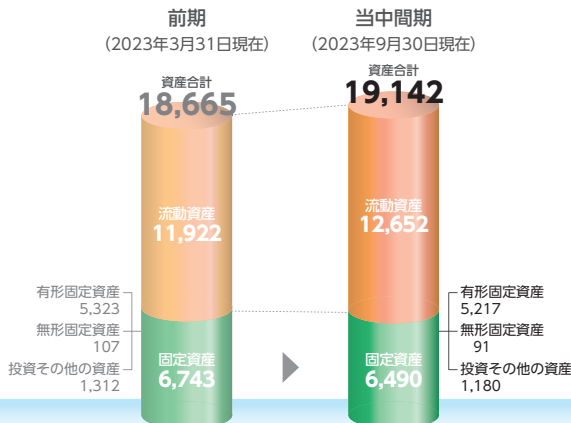


(注) 1. 1株当たり当期（中間）純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益から期中平均株式数（除く自己株式数）で除して算出しております。
2. 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結貸借対照表の概要

資産の部

(単位：百万円)



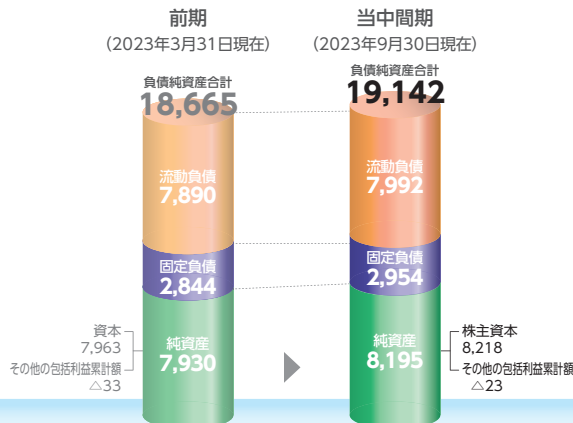
Point

資産の部 変動要因

総資産は4億76百万円増加し、191億42百万円となりました。
流動資産は7億29百万円増加し、126億52百万円となりました。
これは主に現金及び預金の増加によるものです。
固定資産は2億53百万円減少し、64億90百万円となりました。
これは主に減価償却費の計上によるものです。

負債・純資産の部

(単位：百万円)



Point

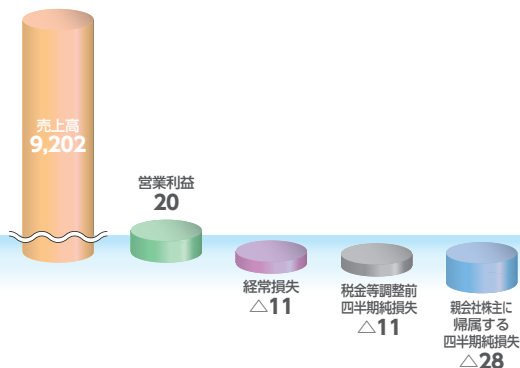
負債・純資産の部 変動要因

<負債> 流動負債は1億2百万円増加し、79億92百万円となりました。
これは主に支払手形及び買掛金の増加によるものです。
固定負債は1億9百万円増加し、29億54百万円となりました。
これは主に長期借入金の増加によるものです。
<純資産> 純資産は2億64百万円増加し、81億95百万円となりました。
これは主に利益剰余金の増加によるものです。

四半期連結損益計算書の概要

前中間期

(自 2022年4月1日～至 2022年9月30日)



当中間期

(自 2023年4月1日～至 2023年9月30日)



Point

四半期連結損益計算書 変動要因

売上高は、販売価格水準の見直しや受注済み案件の採算改善の結果、前年同期比11億36百万円増加し、103億38百万円となりました。
営業利益は、売上高の増加に伴い、前年同期比5億90百万円増加し、6億10百万円となりました。



**PHASE FREE
AWARD 2023
BRONZE**

**TSウォータータイトが、
PHASE FREE AWARD 2023のBRONZE賞を受賞しました。**

TSウォータータイト 通常ハンドル止水ドア

特定
防火設備



使いやすい通常ハンドルで、緊急時も追加操作なしに高い止水性能を実現。

「いつものドアに止水性能があれば一番いい」という多くの声にもとづき、SAT、PATドアに特許技術の止水性能を付加した、TSウォータータイト。SLタイプは、SATドアを使う場所ならどこにでも。PGタイプは、PATドアを使う機械室などが主な用途となり、いずれも公的試験機関立会いのもと、実物を使った止水性能試験で性能を確認済です。

- オリジナルゴム採用で高止水性能0.02m3/h・m2を実現
- 一般的な天井高（3m）以上を想定した大規模な水害に対応
- 雨開きで、SLタイプは幅2.2m、PGタイプは幅2.1mの広い開口部に対応
- SLタイプは、水害時に屋外を安全に確認できる窓付仕様を用意
- 扉厚40mm。通常ドアと同じ納まりで高い意匠性を実現



京セラドーム大阪 社名看板掲出のお知らせ

この度、当社社名のPRや浸透、ならびに社内一体感の醸成を目的として、オリックス・バファローズの本拠地である京セラドーム大阪®に社名看板を掲出することとなりましたので、お知らせいたします。（オリックス・バファローズは3年連続パシフィックリーグで優勝し、日本シリーズに進出しました）

【掲出場所】

5階三塁側（レフト側）観客席前壁面 G-15



ファウルボールやホームランボールを追いかける際、テレビで露出が期待できる場所です。又、球場内からも視認性が高い場所です。球場へ来場またはテレビ中継をご覧になる際は、ぜひご注目下さい。

※京セラドーム大阪（大阪市西区千代崎3-2-1）は、年間を通してプロ野球公式戦60試合余・コンサート等、さまざまな催しが行われるため、世代・性別を問わず多くの方が来場され、またメディアへも取り上げられる事の多い、多目的ドームです。

これからのモノづくり「MAKE with」を開設



当社は、ユーザーや設計事務所からの相談を基に新しい製品を開発する取り組みとして「MAKE with」と名付けた特設サイトを2023年8月24日開設いたしました。

東洋シャッターは、シャッターやドア、金物の専門メーカー。ご要望を幅広くカバーできるようにラインナップを充実させるのはもちろん、「こんな製品があれば」のお声をうかがう開発もはじめています。「MAKE with」は、東洋シャッターのこれからのモノづくり。設計事務所と一緒につくった「TSレバータイト 框窓付フラットタイプ」など、「MAKE with」製品がもう、生まれはじめています。

1 MAKE with 事例

防音性能を犠牲にせず開放感もある防音ドアがほしい

框窓付タイプの防音ドア



TSレバータイト
框窓付フラットタイプ
アクションフリー製品

2 MAKE with 事例

防音ドアの基本性能はそのまま換気もできるドアはできないか

換気もできる防音ドア



TSベンチタイト
アクションフリー製品

3 MAKE with 事例

普段どりの操作で高い耐風性能を発揮する店舗用のシャッターはないか

高耐風仕様の軽量シャッター



TS耐風セーブ
アクションフリー製品

4 MAKE with 事例

ガラスドアの意匠性と高度な耐火性能を両立できないか

CAS認定の防火ガラスドア



タイカルク
αシリーズ・βシリーズ

シュネルスピッツ Schnell Spitz by HÖRMANN

ウレタン充填パネルによる優れた断熱性、耐風圧性、静音性。



■2層スチールパネル構造

パネルは内部に発砲ウレタンを充填した2層スチールパネル構造。断熱性、耐風圧性能に優れるほか、開閉時の静音性にも効果を発揮。

ドア
スタイル

パネルデザイン

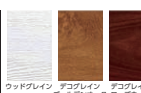
パネル形状



マイクログレイン



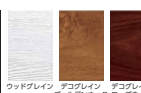
Lリブ



ウッドグレイン
デコグレイン
ゴールドデンオーク ローウッド



Mリブ



ウッドグレイン
デコグレイン
ゴールドデンオーク ローウッド



Sパネル



意匠性と性能に優れた住宅用オーバードアが登場。最大開口幅6m・開口高さ3mまで対応

ヨーロッパのスタイリッシュなパネルデザインを3種類ラインナップ。

■マイクログレイン／パネル形状：Lリブ

表面は滑らかにエンボス加工された波形を特徴とし、魅力的な光と影の効果を創出。
(カラー：トラフィックホワイト)

■ウッドグレイン／パネル形状：Mリブ、Sパネル

木目調のエンボス加工が特徴。
(カラー：トラフィックホワイト、グレー、ホワイトアルミニウム、アンズサイトグレー、ハーマンブルー)

■デコグレイン／パネル形状：Mリブ、Sパネル

木目調のフィルム貼り銅板を使用し、木質調の高級感を演出。
(表面仕上げ：ゴールドデンオーク、ローズウッド)

「飛鳥ハーフマラソン2024」協賛のお知らせ

当社は奈良県磯城郡に当社最大規模の生産工場を保有しており、従来から地元小中学校の工場見学等を通じて地域との交流や次世代を担う人材育成機会の創出を行っております。

このたび、「持続可能な社会づくりの一環として、ランナーが飛鳥を走れば走るほど景観が豊かになる、走って歴史的風土を守る仕組みを提案する」という開催の主旨に賛同し、昨年に引き続き、2024年3月10日(日)に開催される飛鳥ハーフマラソンにゴールドグレードとして協賛いたします。

大会の概要は下記のとおりです。

- 大会名称：飛鳥ハーフマラソン2024
- 開催日時：2024年3月10日(日) 9:00～
- 主催：飛鳥ハーフマラソン実行委員会、明日香村、明日香村教育委員会
- 主管：一般財団法人奈良陸上競技協会
- 種目：ハーフマラソン (21.0975km)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



株式の状況

Stock Information

株式の状況 (2023年9月30日現在)

(1) 発行済株式の総数

発行可能株式総数 17,748,000株

発行済株式の総数 6,387,123株

(2) 当事業年度末の株主数

3,423名

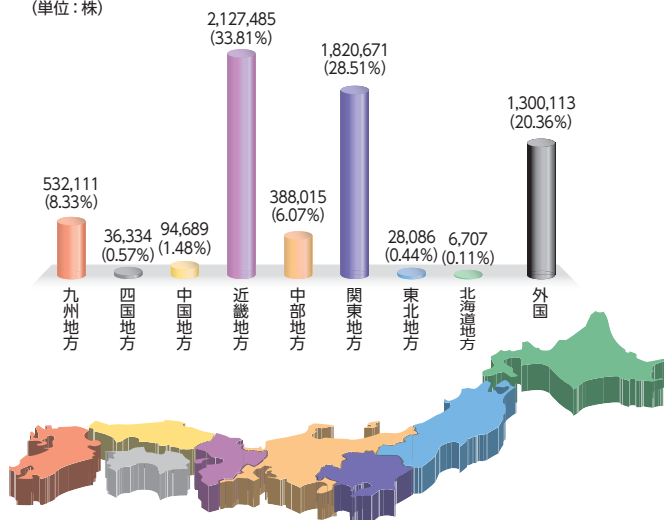
(3) 上位10名の株主

株 主 名	持株数	持株比率
DEUTSCHE BANK AG FRANKFURT CC CLT HOERMANN BETEILIG 4004020	1,259,200	19.88%
東 洋 シ ャ ッ タ ー 取 引 先 持 株 会	843,880	13.32%
東 洋 シ ャ ッ タ ー 従 業 員 持 株 会	526,228	8.31%
下 村 正 一	335,000	5.29%
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	313,374	4.95%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	295,000	4.66%
株 式 会 社 S B I 証 券	133,900	2.11%
愛 知 電 機 株 式 会 社	125,444	1.98%
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	119,207	1.88%
中央日本土地建物株式会社	114,159	1.80%

- (注) 1. 上記持株数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) 145,300株
2. 上記、持株比率は自己株式 (52,912株) を控除して計算しております。
3. 当社として実質所有が確認できたDEUTSCHE BANK AG FRANKFURT CC
CLT HOERMANN BETEILIG 4004020の持株数については合算 (名寄せ) して記載しておりますが、その他については、株主名簿の記載どおりに記載しております。

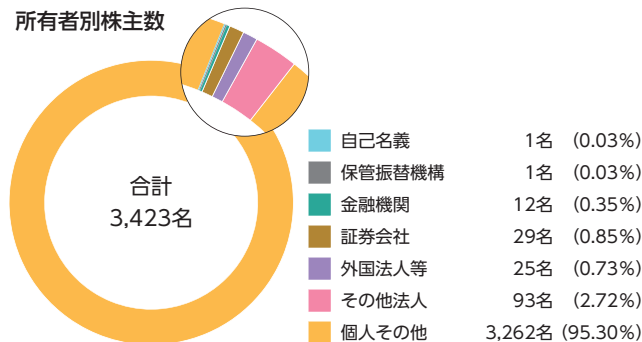
地域別分布状況 (2023年9月30日現在)

(単位: 株)

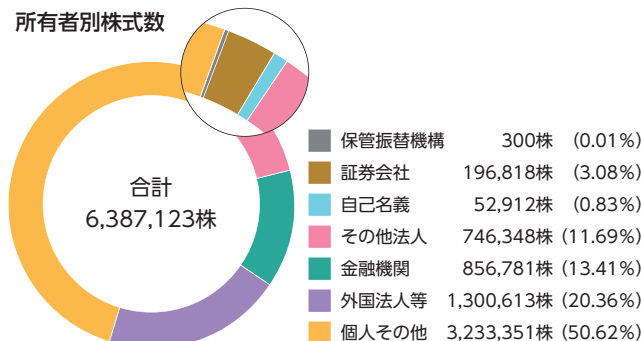


株式情報 (2023年9月30日現在)

所有者別株主数

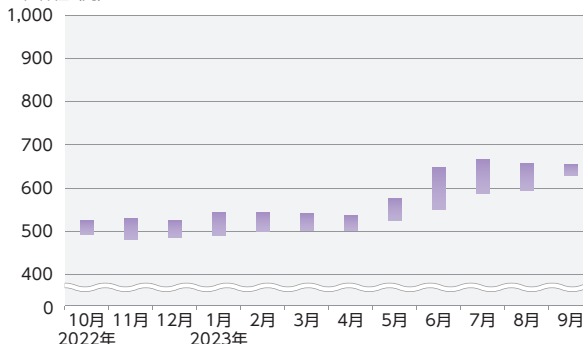


所有者別株式数



株価の推移

当社株価 (円)



会社の概要

役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長 執行役員社長	岡田敏夫
代表取締役専務 専務執行役員	能村宏
取締役常務執行役員	脇川和則 田畑勝志 村瀬厚司
取締役	マーチン・ハーマン 水野久美子 中澤未生子

常務執行役員	野中真也
上席執行役員	花井直樹 楠本良治
執行役員	西影憲介 奥野貴史 山下一也 築山清一
常勤監査役	林修一 松澤慎治
監査役	嶋田薫也 野中徹也

(注) 1. 取締役マーチン・ハーマン氏、水野久美子氏及び中澤未生子氏は、社外取締役であります。
2. 監査役嶋田 薫氏及び野中徹也氏は社外監査役であります。

会社情報 (2023年9月30日現在)

設立 資本金 従業員 主要な事業内容	1955年9月10日 2,024,213,659円 528名 各種シャッター及びその他の建築用建具・建材の製造・取付及び販売 防災・防犯機器の製造・取付及び販売 建築用金物・船舶用金物・装飾金物・家具厨房機器の製造及び販売 建築物の設備機器・資材・什器設備・消耗品の仕入・販売及び輸出入に関する業務 各種電気輸送機及び電気装置用機械器具ならびに材料の販売・据付及び修理 上記の保守業務 不動産の売買・賃貸借・仲介及び管理 工業所有権・著作権等の無体財産権・ノウハウ・システムエンジニアリング・その他ソフトウェアの取得・貸与及び販売 上記に関連する業務 本 社 (大阪市) 東京本社 (東京都中央区) 支 店 東京支店 (東京都中央区)、東京ビル建支店 (東京都中央区)、名古屋支店 (名古屋市)、京都支店 (京都市)、大阪支店 (大阪市)、大阪ビル建支店 (大阪市)、中四国支店 (広島市)、九州支店 (福岡県糟屋郡)、東日本メンテサービス支店 (東京都中央区)、関西メンテサービス支店 (大阪市) 営業所 全国主要都市50ヶ所 工場 つくば工場 (茨城県稲敷市)、奈良工場 (奈良県磯城郡)、九州工場 (鹿児島県姶良市) 子 会 社 南東洋シャッター株式会社 (鹿児島県姶良市)
主要な営業所 及び工場	

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

【株式に関する手続きのお申し出先】

- 証券会社に口座をお持ちの場合
お取引の証券会社にお申し出ください。
- 特別口座の場合
郵便物送付先 / 〒168-8507
電話お問合わせ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行 証券代行部
0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店

【ご注意】

- ・単元未満株式の買取請求以外の株式売買はできません。
- ・電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は、至急上記電話お問合わせ先までご連絡ください。
- 未払配当金
上記お取扱店ならびにみずほ銀行本店及び全国各支店
- 株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) について
お問合わせ先
・当社の保有株式口座を開設している証券会社
・みずほ信託銀行 証券代行部
0120-524-323 (フリーダイヤル)

上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード5936)
公告方法	電子公告の方法により行います。 但し、電子公告をすることができない事故その他のやむをえない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL < https://www.toyo-shutter.co.jp >



東洋シャッター株式会社

(本 社) 〒542-0081 大阪市中央区南船場 2-3-2 TEL 06 (4705) 2110
(東京本社) 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-14-5 TEL 03 (3639) 0551
(当社ホームページURL) <https://www.toyo-shutter.co.jp>



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。